



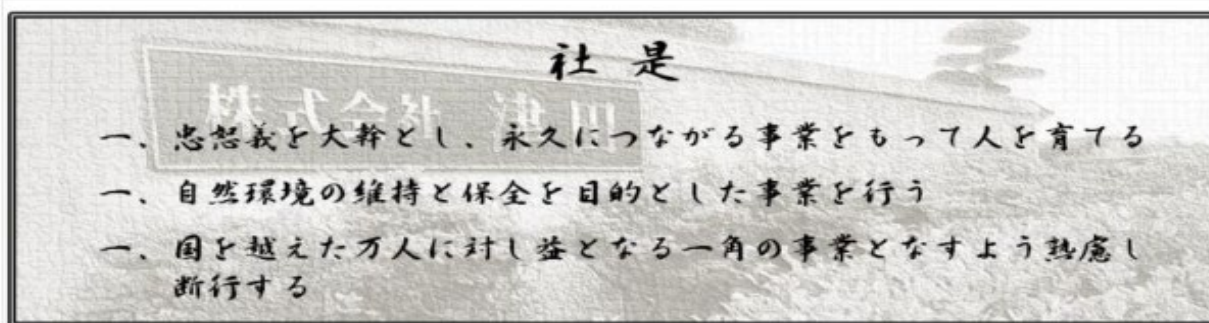
株式会社 津田

COMPANY PROFILE

株式会社 津田

環境と調和を目指して





会社概要

■会社名	株式会社津田
■本社所在地	〒869-4201 熊本県八代市鏡町鏡村33番地6
■電話番号（八代工場）	0965-37-1871
■FAX番号（八代工場）	0965-37-1860
■代表者	代表取締役 田村勇喜
■設立年月日	昭和39年10月1日
■資本金	1千万円
■決算期	毎年4月1日より翌年3月31日
■取引銀行	（株）肥後銀行
■従業員数	27名
■業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ●産業廃棄物処理・収集・運搬業務 ●一般廃棄物処理・収集・運搬業務 ●鉄、非鉄金属購買 ●コンクリートブロックの製造及び販売 ●オイルコークス・石炭・その他燃料類の仕入及び売買 ●バイオマスエネルギー事業 ●土木一式工事業 ●しゅんせつ工事業 ●肥料及び飼料の製造及び販売 ●その他上記に関連する業務
■廃棄物受入量	1) 総受入れ廃棄物量 21,265t/月
■主製品（購買）	<ul style="list-style-type: none"> 1) 非鉄金属 2) 金属 3) プラスチック類 4) 一般廃棄物に係わる資源化物全般 5) 中古機械等の売買
■工場敷地	4.5ヘクタール

沿革

当社は昭和39年より業務を行っており、時世の流れが物造りと同様に環境に配慮した廃棄物処理の必要性を鑑みて産業廃棄物、一般廃棄物、災害廃棄物の処理業を営んでおります。

バージン材料の利用を可能な限り避け、持続可能な発展を促し、クローズドループを推奨した考えを根底に官民一体となり推進しています。

環境に対応する取り組みが重要視されている今、変わり行く状況に対応協議し適切な処理を皆様に提案していく事が重要と考え、会社基本の礎として努力を続けてまいります。

年譜

昭和39	会社設立
昭和59	資源化処理センター設立
昭和60	有限会社 津田商店設立
平成2	産業廃棄物収集運搬業認可
平成4	氷川事業所設立（旧竜北事業所）
平成5	株式会社興人事務所設立
平成6	産業廃棄物処理業認可
平成10	株式会社津田に組織変更
平成11	宇城支店設立（旧松橋事業所）
平成12	宇城支店 産業廃棄物処理業認可
平成18	八代工場設立
平成19	八代工場 産業廃棄物処理業認可 ※河川・海上浮遊物の処理施設を設置
平成21	宇城支店 産業廃棄物処理業認可 (RPF施設を設置)
平成25	天日乾燥施設設置
令和3年	八代工場 産業廃棄物処理施設設置許可 (破碎施設及びRPF施設を設置) 宇城支店 一般廃棄物処理施設設置許可 (移動式破碎施設を設置)
令和4年	宇城支店 一般廃棄物処理施設設置許可 (移動式破碎施設を設置)

中間処理事業



再生資源卸売事業・廃棄物中間処理事業

熊本県八代市（八代工場）、宇城市（宇城支店）、氷川町（氷川事業所）に事業所を有し、産業廃棄物、一般廃棄物の中間処理事業と再生資源卸売業を行なっております。

八代工場と宇城支店では、産業廃棄物及び一般廃棄物の中間処理事業を行なっており、セメント原料化、高炉メーカー原料化、RPF原料化と言った地球環境に配慮した中間処理・リサイクル事業を行っています。

さらに、八代工場では河川や海上に浮遊する廃棄物の選別や廃船の解体、その他混合廃棄物の選別・分級事業も行なっています。

また、再生資源卸売業としましては、八代工場、宇城支店、氷川事業所におきまして、鉄・非鉄と言った金属類、プラスチック類等の再生資源（有価物）の選別・資源化を行なっております。

POINT

当社の特徴

有価物の選別・資源化

非鉄精錬原料・非鉄原料・鉄原料・プラスチック類

廃棄物の再資源化

セメント原料/燃料製造・高炉メーカー焼結副原料製造・固形化燃料製造

河川海上廃棄物分別

河川・海上に浮遊する廃棄物と廃船の解体処理施設

風力選別機による分級

混合廃棄物の分別分級

篩機・磁力選別機

主な施設の紹介



一軸式万能破砕機

廃プラスチックから紙くず、木くずと、様々な廃棄物を破砕処理できる万能型破砕機です。



圧縮梱包機

かさばる廃棄物を圧縮梱包する処理マシンです。



風力選別機

風の中で重さが異なる廃棄物を選別します。



固形燃料化施設

破砕処理された廃棄物を、熱と圧力をかけ成型させ固形燃料（RPF）を作ります。



天日乾燥施設

汚泥（含水率85%以下に限る）を天日乾燥させRPF化の原料や堆肥原料を作る施設です。





① 熊本県リサイクル製品認証制度を受けました

リサイクル製品の品目	プラスチック製品
商品名	ASF-T(Alternative Solid Fuel-Tsuda)
寸法・規格	直径 30mm、長さ60mm以下 高位発熱量5,000kcal/kg 以上（下限）、塩素0.30 未満（上限）
再生資源の種類 及び含有率	廃プラスチック類（塩化ビニル除く）、木くず、紙くず、ゴムくず、繊維くず、汚泥、動植物性残さ 計100%

ASF-Tとは？

ASF-Tは、Alternative Solid Fuel-Tsuda の略称で、紙くず、廃プラスチック類などの廃棄物を原材料として製造する、固形燃料です。

当社では受け入れした廃プラスチック類や紙くず、木くずなどを破碎処理した後、圧縮、成型し固形燃料（ASF-T）を製造しています。

ASF-Tは、石炭やコークス並みの高カロリーで化石燃料の代替として使用可能です。また石炭などの化石燃料よりもCO₂排出量が少なく環境にやさしい代替燃料です。



収集運搬事業



廃棄物収集運搬事業

お客様から排出される廃棄物の種類は多岐にわたり、その性状も様々です。当社では運搬対象物の性状に合わせた車輛を的確に選定し収集運搬を行うため、様々な種類の廃棄物に対応した車輛をご用意しております。

主な運搬車両のご紹介



アームロール車

コンテナが脱着式でコンテナの種類により様々な廃棄物を運搬することができます。



グラブブル車

つかみが付いた車両で、金属や木くずなどのバラ物をつかみ荷台に乗せることができます。



ダンプ車

荷台がチルトアップする車両で、主に汚泥などを運搬します。



バックカー車

いわゆる街で見かけるゴミ収集車で、荷台の中に廃棄物を巻き入れることができます。



ユニック車

クレーン付きの車両で、廃棄物を自車で吊り上げ荷台に乗せることができます。



パワープロベスター車

超強力吸引車で、含水の多い汚泥を密閉式の荷台タンクに吸引することができます。



平ボデー車

荷台が通常のトラックタイプで、汎用性の高い車両です。

浚渫・解体工事



浚渫・解体工事

浚渫工事

有害物質を取り扱う特定施設、プラントの排水設備、または排水路の浚渫やタンク清掃を行っております。また清掃後の残渣スラッジ及び洗浄水の収集運搬も行っております。

低酸素エリアや可燃性ガスが発生するエリアでの作業は酸素濃度、硫化水素濃度の測定を行いエアラインマスクや帯電防止保護具を着用し作業を行っております。

〈主な浚渫タンク〉

濃硫酸タンク・苛性ソーダタンク 等

危険エリア内での作業も多く、事前ミーティングやKY（危険予知）、作業にあった安全保護具の着用など安全対策や安全作業には万全を期して作業に従事しております。

解体工事

有害物質プラントの解体や家屋解体及び解体材撤去を行っております。

〈主な解体設備〉

ボイラー焼却炉煙突

アスベスト含有プラント 等



交通アクセス

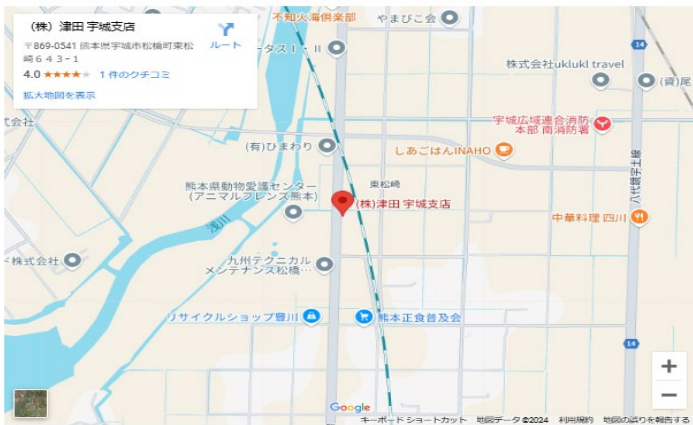
本社



八代工場



宇城支店



氷川事業所



お問合せ

Contact us

お問い合わせやご質問がございましたら、お気軽に当社までご連絡ください。

平日 8:00~17:00 (土日・祝日除く)



0965-37-1871
(八代工場)



問合せフォーム

また、弊社ウェブサイトもご利用いただけます。
最新情報や事業内容、営業時間に関する詳細な情報を掲載しております。



<https://tsuda-eco.jp/>



株式会社 津田

〒869-4201 熊本県八代市鏡町鏡村33-6